



大阪早稲田倶楽部 NEWS

新年会 楽しく華やかに



高松啓二氏の音頭で乾杯



華やかなフラダンスショー

大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会が1月16日(土)、大阪・上本町のシエラトンホテル大阪で開かれ、125人が参加しました。

特別ステージは新年を寿ぐフラダンスショー。白原早織さん(11年人間科学)のお母様が主宰されている教室のステージで、白原さん親子と生徒さんら11人による華やかなショーです。稲田増光さん(昭47年政経)による軽妙な司会進行で、途中から校友もステージに上がって一緒にダンスを楽しみました。即興とは思えぬオジサマの艶めかしい腰や手の動きに会場は大いに沸きました。

会では、冒頭、倶楽部会長で校友会支部長の吉川一三さん(昭45年商)が挨拶に立ち、近年、新年会の参加者が増え、特に若手のみなさんが多くなったこと、ふれ、「若い人にこれからもどし

どし参加いただき、講演会などで勉強もし、イベントなどで楽しみ、倶楽部と校友会がいつそう盛り上がりそうです」と述べました。続いて、校友会副支部長の高松啓二(近鉄百貨店社長)の昭48年政経の音頭で高らかに乾杯しました。

また、ワセジヨの面々もステージに勢ぞろい。晴れ着や華やかな装いの美しい女性陣にステージ前はカメラの放列となりました。

中締め挨拶では野村公平(倶楽部理事長)の昭47年法が「みなさんの元気で華やかな姿を頼もしく見ました。話題になっているS MAPの中居君は43歳で今もアイドル。とするとみなさん、まだまだ若い。67歳の私だって」と笑いを誘い、終始、なごやかに楽しい集いとなりました。ホテル内のラウンジに移動した2次会でもみな絶好調でした。

参加者全員で記念撮影



Wフォーラム

悠久の倶楽部史を聞く

倶楽部の六甲山ハイキング(昭和12年)
前列、旗の左の人が 後の大阪市長の中馬馨さん

講師の田中宏さん

Wフォーラムは「大阪早稲田倶楽部の歩み」と題した講演会を昨年10月30日、田中宏さん(昭和33年文・国史)を講師に招いて開催しました。

大正10年より始まる倶楽部の歴史を、現存する会誌等から調査され、略史、同好会、大阪早稲田の森、結婚相談室、稲門俳句会、史談会について話していただきました。以下に内容を抜粋してご紹介します。

「略史」

発足時は信濃橋倶楽部会員400名のうち早稲田校友が150名程。昭和に入り稲門工学倶楽部となり会員数500名を超えていた。

戦後は南海クラブ、関西経済クラブへの団体加入など転々とする。事務所も昭和27年に淀屋橋の白ビル、昭和32年に北区絹笠町(現在の地名では西天満2丁目、高裁の西)の喫茶店麦の二階から35年に老松町日新ビル、40年本町の早稲田屋ビル、49年阪急芝田町ビル、平成11年淀屋橋児島ビル、14年梅田梅仙堂

ビル、16年リーガロイヤルホテル西館、22年から現在の新阪急ホテルへと移ったようです。

「同好会」

平成11年頃は活発な活動があり、現在の部会に加え、釣り、陶芸、小唄、書道、茶道、撞球、麻雀、ボウリングに社交ダンス等であったようです。

「大阪早稲田の森」

昭和43年に昭三会、昭四会が中心となり、中馬馨氏(昭4年政経)の大阪市長実現記念に大阪早稲田の森として寄贈したもので、昭和47年には前年の中馬氏ご逝去を偲び、植樹祭を行い、新たに250本を寄贈、昭和47年10月には全国公園緑化促進大会で大阪早稲田の森に感謝状、記念盾が贈られました。

「結婚相談室」

昭和45年5月の会報に結婚相談室設立の予告があり、田中宏さんは昭和61年5月から4年間、奥様と共に担当され、釣書交換が1242組、見合113回、成立が9組という数字を残されています。

「稲門俳句会」

昭和43年6月に第一回の俳句会が開かれ、平成27年10月の句会で558回。田中宏さんは第二回句会から出席されています。稲門句集は第六巻まで上梓。

「大阪早稲田史談会」

平成5年3月に中西信吾さん(昭35年国文)を講師とした記事を読む会が最初で、この10月(昨年)で228回を数えたということです。

講演会には吉川一三会長、野村公平理事長はじめ27名が参加、懇親会も21名が集い、倶楽部の歴史でも結婚相談室の実績について最も話が弾んだように思います。吉川会長の御挨拶では田中宏さんの結婚相談室で遺された驚くべき数字は余人に不可能であろうと称される言葉もありました。

偉ぶらず、目立たず、粛々と倶楽部に大きなお力添えを頂く田中宏さんの早稲田愛、心の大きさを改めて認識する私でした。

田中啓一郎(昭55年社学)

大阪名物

たこ焼きを堪能



たこ焼懐石料理



竹粹亭 浜寺店

秋の気配も色濃くなってきた昨年(平成27年)11月14日、有志23名は南海本線の石津川駅(堺市)に集合し、「たこ昌 竹粹亭 浜寺店」へ向かいました。年内納めの食事会、素晴らしい空間で創作たこ焼きの真髄を堪能しました。

そうです。♪大阪出る時連れっつて♪たこまさの♪たこ・や・き♪のCMでお馴染みの「たこ昌」さんです。

粉もんは家庭料理のおかずのメニューに取り入れられ、また大阪の代表的な食文化として定着しています。人口当たりのお店の数は大阪がトップです。この日はコース料理をいただきました。皆に聞くと、たこの珍味、たこぶつ、たこ焼きの茶碗蒸しなどに人気がありました。たこは南アフリカ産だとか。

お店は、たこ昌の会長のこだわりが随所に見て取れました。茶室をあしらったくくり戸(堺は千利休の町)の内は日本情緒のある空間で、「かべ」は苦心の横書き模様、「ガラス細工のたこ」は日本全国・世界を旅して収

集したものの、「サンゴや石」は夕イビングしていた頃のものだそうです。京の「わびさび」の世界を意識して作られた逸品が花を活けて「たこの陳列」の隣にそっとう置かれてありました。

テーブルは「ほんまもん」の一枚板、「堀炬燵席」の足元は「磨き丸太」を組み、冬季には「床煖房」で寛げます。和紙の間接照明が一層ムードを盛り上げています。「庭の竹」「淡路瓦と銅屋根」など見どころ多く、一歩中に入ると騒音を忘れさせてくれる静けさに別世界に遊ぶ境地を体験しました。

食事を彩る「器」には特に気を遣い、お料理の神髄は器にあり、料理人として真価を問われる所以と心得、全国の窯元を津々浦々旅して収集する、と言った拘り様です。

皆さんは「日本コナモン協会」を御存じでしょうか?御縁があつて会長の熊谷真菜氏とお会いしました。今回の食べ歩き会にもお誘いしたのですが御多用ゆえ実現しませんでした。が、土産をご用意くださいました。

タコヤキスト・生活文化研究会として活躍している熊谷氏(たこ焼き研究では比類なき存在)が中心となりコナモンを愛するメンバーで2003年5月7日(コナモンの日)に設立された民間団体です。道頓堀たこ焼き連合会、大阪鉄板会議など多様な活動情報がHPに掲載されています。

粉もんプリンセスまでいらっしやる。ご興味ある方は「関西ウォーカー」9月15日発売号に「粉もんWalker」挟み込み別冊があります。手に取ってご覧ください。また、ABC朝日放送主催「ABC万博たこやき馬拉ソン2016」なるイベントが平成28年3月13日に開催されました。

私は米国勤務の際、たこ焼き鍋(器)を持参し、ニューヨークを呼んでたこ焼きパーティーなど、しております。

来年もコナモン業界の話題は尽きないと思います。大阪のたこ焼き文化を全国、全世界に発信!

山元唯光(昭59年政経)

学活の杜・講演会 大阪をもっと 元気に



倶楽部の勉強会「学活の杜(もり)」は2月12日、関西文化サロンでダイビル社長の山本竹彦さん(昭50年政経)を講師に迎え、関西を代表するビル会社・ダイビルの歩みを通して大阪の今昔を縦横に語ってもらいました。

ダイビルは大正12年、あの「五代さま」五代友厚の尽力により当時の在阪有力企業3社の出資により設立された「大阪ビルディング」が前身。

今や東南アジアにも進出し、建築、所有、管理、賃貸の内製化という創立以来の基本体制に基づき、高品質なビル管理を提供されています。

大阪の一等地を保有し、人もうらやむ超優良店子を持ち、老舗としての盤石な経営基盤に加え、最先端のビル管理理念を取り入れた堅実な経営を進めておられます。

この日は、「90年の伝統と革新性 新たな100年に向けて」が演題で、生活と密着した緑を増やし、都心で住めるような潤いのある職住近接の豊かな街にすることが大阪復活の力ギになると力説。

約50人の参加者も熱心に耳を傾け、講演後の懇親会でも大阪を元気にするにはどうすればいいかの議論が続きました。

豊島恵子(昭52年法)



大いに沸いた 甲子園ボウル

アメリカンフットボールの大学日本一を決める甲子園ボウル。関東の強豪を撃破して勝ち上がったわが母校は昨年12月13日、西の雄、立命館大と一戦を交えた。甲子園球場にこんなに熱狂的な大勢のワセダファンが集まったのは高校野球以来だ。立命館大のスクールカラーもマゼンタ系の色なので、球場全体が濃紅色に染まっている。

ゲーム展開は前半14対21。後半3Qでついに逆転して、24対21。観客はスタンディングオベーションで、「紺碧の空」の合唱が一段とびびきわたる。しかし、結果は27対28で惜敗。ちなみに鎌田総長も観戦にいられていた。来年もこの甲子園ボウルでみんなと再会したい。



ゴルフコンペに 奮ってご参加を

倶楽部のゴルフ部会は150回を超える定例コンペのほか、慶応や同志社との対抗戦、校友会大阪府支部主催のコンペなどに若手から年輩者までが参加し、和気藹々と楽しんでいきます。

昨年12月18日には北六甲カントリー倶楽部で忘年ゴルフを実施。同倶楽部のメンバーの金本基弘さん(昭50年商)のご尽力でプレーフィードも大変リーズナブルに設定いただき、感謝、感謝でした。夜は、関寛之さん(平8年理工)が経営される高級ホテル「ラ・スイート神戸ハーバーランド」の近くにオープンしたばかりの「神戸みなと温泉 蓮」で宴会・宿泊。神戸港を一望できる屋上の展望露天風呂で疲れを癒やし、真新しい綺麗な部屋で美味しい料理とお酒を堪能し、最高の一夜でした。

一方、11月5日に久邇カントリークラブ(埼玉県飯能市)で開催された第7回全国校友会ゴルフ大会において、竹田雅幸さん(昭47年商)率いるわが校友会大阪府支部チームが団体戦2位(55チームのうち)になり、竹田さんも個人の部門で3位に輝きました。

これからも趣向をこらしながらみんなで楽しめるゴルフを企画していきますので、みなさんぜひご参加ください。

稲部勝博(昭60年商)

大阪早稲田倶楽部



早稲田大学校友会大阪府支部